

お知らせ

記者発表資料

令和4年8月31日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和4年度 中国地方整備局入札監視委員会 総会及び第一部会 第1回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会は令和4年度総会及び第一部会第1回定例会議を令和4年7月25日（月）に開催しました。

総会では委員長の選出、委員の所属部会の指名等を行い、第一部会第1回定例会議では、令和3年10月1日から令和4年3月31日までの間に契約した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した8件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

総会及び第一部会定例会議の審議概要については別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

中国地方整備局入札監視委員会事務局

082-221-9231（代表）

◎主任監査官 すがわら 菅原 ひろあき 宏章（内線2114）

総務部 契約管理官 あごう 吾郷 ひであき 英明（内線2222）

企画部 技術開発調整官 いまづ 今津 つとむ 勉（内線3120）

総 会

1. 開催日時及び場所

令和4年7月25日（月） 13時30分～13時50分
中国地方整備局建政部3階会議室

2. 審議概要

- ・ 委員長の選出及び委員長代理の指名
- ・ 委員の所属部会の指名

「3. 委員名簿」のとおり、委員長、委員長代理の選任と、各委員の所属部会の指名がされました。

3. 委員名簿

委員長 (第一部会)	<small>たけだ のぶみ</small> 竹田 宣典	広島工業大学工学部環境土木工学科教授
委員長代理 (第二部会)	<small>すずき もとゆき</small> 鈴木 素之	山口大学大学院創成科学研究科教授
委員 (第一部会)	<small>ためすえ かずまさ</small> 爲末 和政	弁護士
委員 (第一部会)	<small>つかはら いちろう</small> 塚原 一郎	県立広島大学地域創生学部地域創生学科 准教授
委員 (第一部会)	<small>にしむら しんいち</small> 西村 伸一	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
委員 (第一部会)	<small>やまだ きえ</small> 山田 希恵	公認会計士
委員 (第二部会)	<small>うめつ たかし</small> 梅津 貴	中国経済連合会常務理事
委員 (第二部会)	<small>じんの れいせい</small> 神野 礼斉	広島大学大学院人間社会科学研究科教授

※ 第一部会は港湾空港関係を除く事項について審議

※ 第二部会は港湾空港関係の事項について審議

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日時及び場所	令和4年7月25日（月） 13時50分～16時50分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 竹田 宣典 （大学教授） 委 員 爲末 和政 （弁護士） 委 員 塚原 一郎 （大学准教授） 委 員 西村 伸一 （大学院教授） 委 員 山田 希恵 （公認会計士）	
審議対象期間	令和3年10月1日 ～ 令和4年3月31日	
抽出案件	総件数 8件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO対象）	1 件	
一般競争入札方式 （WTO対象外）	4 件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1 件	
簡易公募型プロポーザル	1 件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1 件	
	意見・質問	説明・回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和3年10月1日 ～ 令和4年3月31日）

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所等	備 考
一般競争 (WTO対象)	令和3年度松江法務総合庁舎建築工事	建築工事	11	2,085,050	93.01%	営繕部整備課	
一般競争 (WTO以外)	令和3年度大山砂防添谷2号砂防堰堤工事用道路工事	一般土木工事	1	162,800	98.14%	日野川	
	令和3年度総社一宮バイパス第2舗装他工事	アスファルト舗装工事	13	211,750	91.41%	岡山国道	
	令和3年度尾道松江線防護柵設置第7工事	維持修繕工事	3	248,050	95.49%	三次	
	令和3年度弥栄ダム水質浄化設備更新工事	機械設備工事	2	94,930	95.94%	弥栄ダム	

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所等	備 考
簡易公募型競争入札	令和3年度斐伊川水系水辺環境調査(鳥類外)業務	土木関係建設コンサルタント業務	9	32,219	79.55%	出雲	
標準プロポーザル	令和3年度福山道路河手高架橋詳細設計その3業務	土木関係建設コンサルタント業務	5	148,522	100.00%	福山	

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	件 名	業務分類	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所等	備 考
一般競争	令和3年度中国地方整備局管内映像共有化システム外製造	物品の製造又は物品の販売	1	114,400	98.49%	企画部情報通信技術課	

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等の対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 8) 一者応札の発生状況 9) 不調・不落の発生状況 10) 高落札率の発生状況	
(2) 抽出事案審議	
1) 令和3年度松江法務総合庁舎建築工事 Q1. 法務総合庁舎の入居官署はどこか。 Q2. 落札者と次点の者の価格差が50万円と僅差での入札となっているが、このような規模の大きい工事でもこういうことはよくあるのか。 Q3. コンクリート躯体の品質耐久性の向上に関する施工計画の適正性について、優良可の判断基準をどのように定めているか。 Q4. 当該工事は外国企業の入札参加が可能だと思うが、中国地整において外国企業が参加した事例はあるか。	A1. 広島高等検察庁松江支部、松江地方検察庁、松江区検察庁、雲南区検察庁、松江地方法務局が入居予定である。 A2. 入札と同時に工事費内訳書を提出してもらっており、その内容を確認している。各者で単価等が各々であっても、全体を合計するとたまたま僅差になるということはよくあることである。 A3. 入札参加資格に係る最低限の要求要件を満たしていれば「可」。更にその要求要件を超えると評価した提案については「良」又は更に優秀な提案については「優」を与えるというような基準で評価している。また、その判断基準や評価結果等については、総合評価審査委員会に諮っている。 A4. 全国的に見ると過去に外国企業が参加した事例はあるが、近年は外国企業が参加した事例はない。

<p>Q 5. 工事技術的難易度が「やや難」となっているが、区分分けの考え方を教えてもらいたい。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 5. この工事の場合「5階建て以上」というところで「やや難」となっている。工事技術的難易度については、施工対象物の規模等により「やや難」や「難」に区分するよう定めている。</p>
<p>2) 令和3年度大山砂防添谷2号砂防堰堤工事用道路工事</p> <p>Q 1. 1者応札となった理由は何か。また98.44%の高落札率であるがどのように考察しているか。</p> <p>Q 2. 落札者はどこの業者か。</p> <p>Q 3. 入札説明書をダウンロードしたが、申請書を提出しなかった者に対し、理由等をヒアリングしているか。</p> <p>Q 4. 理由を確認すべきではないか。</p> <p>Q 5. この案件は「談合疑義事案」に該当しないのか。</p> <p>Q 6. この案件は入札が3回行われているが、入札は何回まで行うのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 当該工事は擁壁工の施工実績を求めているが、擁壁の種類については縛りを設けていない。最大限門戸を広げ公告を行ったが、大山の山中の工事であり、市街地から離れ、気象条件が厳しいうえ、難しい構造の擁壁工であることから参加業者が少なかったと考察している。加えて近隣事務所で多くの工事が発注されていたため技術者の確保が難しかったと思われる。</p> <p>A 2. 米子と倉吉の間の赤碕町に本社を構えている業者である。</p> <p>A 3. 参加者の意思であるため、ヒアリング等の確認は行っていない。</p> <p>A 4. 不調不落となった場合は、理由等確認をしているが、契約まで至った場合は確認していない。今後確認するかどうか検討したい。</p> <p>A 5. 該当しない。</p> <p>A 6. 入札回数は原則2回を限度とされている。ただし、2回目の応札額が予定価格と開差が少ない場合等は、再度現場説明を行い3回目を限度として入札を行うことができる。</p>

<p>3) 令和3年度弥栄ダム水質浄化設備更新工事</p> <p>Q 1. 設備更新の場合、元工事を行った業者が落札することが多いと思うが、今回2者が入札参加したということは、どの業者でもできる工事ということか。また、落札者は、元の設備を造った業者か。</p> <p>Q 2. 入札参加可能者が33者なのに、格付順位が74となっているのはなぜか。</p> <p>Q 3. 散気式曝気循環装置が1号機から4号機まであり、そのうち1号機から3号機までが同時に壊れたということか。</p> <p>Q 4. どの業者でもできる工事ということで価格差が生じにくいと思われるが、1者予定価格超過しているのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 落札者は、元の設備を造った業者ではない。パイプを交換する工事であり、本体の更新ではないためどの業者でもできる工事である。</p> <p>A 2. 入札参加資格として求める同種工事等について、要件を満たす水質保全設備の施工実績を有している者が33者いる。一方、格付順位は、機械設備工事に係る一般競争参加資格の認定を有している者の順位であるため74位となっている。</p> <p>A 3. 2号機と3号機の更新ということで発注したところ、1号機でも空気漏れが発生したため、追加で更新をすることとした。4号機については、今後更新する予定である。同じ時期に造っているため壊れるのも同じ時期となってくる。</p> <p>A 4. 部品の調達に関し、得意不得意があり、落札者はその調達する術を持っていたと思われる。</p>
<p>4) 令和3年度斐伊川水系水辺環境調査（鳥類外）業務</p> <p>Q 1. 当該業務は特殊な業務だと思われるが、なぜ整備局で行わなければならないのか。</p> <p>Q 2. 環境調査の結果を、工事にどのように活用するのか、実際の事例を教えてほしい。</p> <p>Q 3. 入札価格について多くの者が近似値となっており差が無いが、何か理由はあるか。</p> <p>Q 4. 当該業務を受注したコンサルタント業者がその後の工事を受注することの無いような配慮を行っているのか。</p>	<p>A 1. 平成9年の河川法改正に伴い、治水、利水に加え河川環境の整備保全を行うこととなった。そのため、河川環境を確認し工事を行うこととしており、そのための環境調査業務となる。</p> <p>A 2. 大橋川の改修事業に伴い環境調査を行っており、貴重な生物等の住みやすい環境に配慮した護岸の構築や、貴重生物の移植を行った後の工事着工等を行っている。</p> <p>A 3. 歩掛かり見積を取り、その歩掛かりを公表している。各者歩掛かりを見て適正に積算を行えば似通った価格となると思われる。</p> <p>A 4. コンサルタント業者が工事の有資格を持っていることは少ないと思われるが、コンサルタント業者と工事を行うゼネコン業者の資本提携や親子関係が有るのであれば、入札時に排除することとしている。</p>

<p>Q 5. 業者推薦調書はどういうものか。</p> <p>Q 6. 歩掛かり見積について、複数業者から見積を取り、どのように決定を行っているのか。</p> <p>Q 7. この業務は5年に1度発注するとの説明であったが、歩掛かりの更新はその都度か、5年に1回となるか、どちらか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 5. 当該業務は、簡易公募型指名競争入札総合評価落札方式で入札を行っているが、指名競争の場合、入札参加業者の指名を行うに当たり、業者推薦調書を作成することとしている。</p> <p>A 6. 競争参加資格の有る者に見積依頼をお願いし各歩掛かりの見積を徴取している。その後異常値を除いた平均直下の者の歩掛かりを採用し、公表している。</p> <p>A 7. 歩掛かりの更新は、ルールを定めており、その都度行っている。</p>
<p>5) 令和3年度総社一宮バイパス第2舗装他工事</p> <p>Q 1. 4者無効となっているが、理由は何か。</p> <p>Q 2. アスファルト舗装工事で特定の者が多く落札しているように見受けられるが、アスファルト工事は特定の者に受注が偏る傾向にあるのか。</p> <p>Q 3. 今回のようなバイパスの舗装工事において、区間を分けて発注する場合、特定業者に受注が偏っているのか、又は様々な業者が受注しているのか傾向を知りたい。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 3者は調査基準価格を下回っており、低入札価格調査の追加資料が提出されなかったもの。残りの1者は、本工事が一括審査方式対象工事のB工事のため、A工事落札により無効となっている。</p> <p>A 2. 特定の者に集中している状況とは認識していない。今回のバイパスにおいても他区間では別業者が落札している。傾向については今後も注視していきたい。</p> <p>A 3. 今回のバイパス舗装工事は4区間に分けて発注しており、4区間とも違う業者が受注している。</p>
<p>6) 令和3年度尾道松江線防護柵設置第7工事</p> <p>Q 1. 他に同様な工事が発注されているが、落札率に差異がある原因は何か。</p> <p>Q 2. 尾道松江線の工事で地域要件を島根県としているのはなぜか。</p>	<p>A 1. 同時期発注の同内容の2工事において参加者に重複があり、先に開札した工事を落札した者が、本工事では技術者を配置できないとして入札無効となった。応札額は業者により異なるものであり、別業者が落札したことにより落札率に差異が生じている。</p> <p>A 2. 工事場所が島根県雲南市三刀屋町のため、地域要件を島根県としている。県を跨ぐ場合においては両県を対象地域として設定している。</p>

<p>Q 3. 地域要件を中国地方等と広く取っている工事であれば、県を限定しているものもある。どのような基準で地域要件のエリアを絞っているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 3. できるだけ多くの者に参加していただくことが入札の基本と考える。一方で地域のことは地域に根ざした業者にお任せしたいとも考えている。工事種類、内容、規模等により参加可能業者数等も勘案し地域要件を設定している。</p>
<p>7) 令和3年度福山道路河手高架橋詳細設計その3業務</p> <p>Q 1. 管理補助技術者が必要とされる理由を教えてください。</p> <p>Q 2. プロポーザル方式について業者の絞り込み方法について聞きたい。</p> <p>Q 3. 評価点の差について説明してほしい。</p> <p>Q 4. 技術提案書の評価はどのように行っているか。</p> <p>Q 5. 業務価格の積算のための見積依頼は1者に対して行うのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 管理補助技術者については、若手育成の観点から、経験や実績等が不足している者を管理技術者に配置する場合に、実績のある管理補助技術者を配置しその者を評価することにより受注が可能となるよう制度化している。</p> <p>A 2. 業務実績、業務成績等により5者に絞り込みを行い技術提案書の提出を依頼したが、2者辞退で3者から技術提案書の提出があった。その後、提出された技術提案書の評価を行い、評価点の1番良い1者に絞り込みを行っている。</p> <p>A 3. 照査技術者の表彰の有無、業務の理解度、実施フローの妥当性、業務に関する知識・有益な代替案・重要事項といった審査項目で差がついている。</p> <p>A 4. 基本的には副所長クラスと管理職クラスの3名が別々に評価を行い、平均点を評価点としている。</p> <p>A 5. 技術提案書の評価により特定した1者に対して見積依頼を行っている。</p>
<p>8) 令和3年度中国地方整備局管内映像共有化システム外製造</p> <p>Q 1. 1者応札となった理由は何か。</p> <p>Q 2. 応札者が元のシステム作成者であるとか、技術的に作成者以外の者が参加することが難しいという背景は無かったか。</p> <p>Q 3. 当該役務の受注者は元のシステム作成者か。</p>	<p>A 1. 官報公告が9月であり、時期的に技術者の配置が困難だったと考えられる。</p> <p>A 2. 仕様書を公開しており、システム作成者以外でも対応は可能である。</p> <p>A 3. そうである。</p>

<p>Q 4. 元のシステム作成者以外は価格的に参加することが難しいということがあるか。</p> <p>Q 5. システムで作成する静止画像は、一般の方に公開するための静止画像という理解で良いか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 4. 仕様書を公開しているのに、そのようなことはないと考えているが、一般的に、他者が作成したシステムに手を加えることは、責任の所在の問題等もあり敬遠される傾向はある。</p> <p>A 5. そうである。</p>
<p>(3) 再苦情処理の審議・報告</p>	
<p>該当事案なし</p>	
<p>(4) その他</p>	
<p>なし</p>	